

1976年2月25日第三種郵便物認可（毎週4回月曜・火曜・木曜・金曜発行）

2006年3月8日発行 SSKO 増刊通巻第6008号

SSKO

Drug Addiction Rehabilitation Center

DARC

Grow up!!

栃木ダルク

ニュースレター 第36号(2006. 3. 10)

訓練、相談の場 身近に

栃木ダルク、宇都宮に拠点 薬物・アルコール依存脱却を

薬物、アルコール依存からの回復を支える **下野新聞 2006/1/25より転載**
民間団体「栃木ダルク」は、宇都宮市に社会復

帰のための拠点施設「宇都宮アウトパシエント(OP)」を開設した。

これまでの那須町の施設は山間部ということもあり、栗坪千明代表は「宇都宮では仕事など社会と関係しながらの訓練ができる。相談窓口としても活用してほしい」と呼び掛けている。

同団体は二〇〇三年、那須町高久丙に入寮制の「那須アディクションケアセンター（現在はトリートメントセンターに名称変更）」を開設。薬物のない生活に慣れるには最適の環境だが、次の段階として社会復帰を目指す訓練が難しかった。これまで社会復帰の訓練は仙台、千葉などのダルクに任せていた。しかし一貫して支援できない上、

大都市圏の生活で薬物の再使用に陥ることが多いなどの問題があった。

宇都宮OPは宇都宮市大曾二丁目のビルに開いた。ミーティングルームと相談室、事務室を備える。訓練は同市内の宿泊施設から宇都宮OPに通いながら行う。

社会復帰には、人間関係などのストレス、悩みを共感し合える仲間が確保されていることが重要。自らの経験を語り合うグループミーティングを続けながら、就労など社会復帰のステップを進めていく。

従来通り、初期段階のリハビリは那須町の施設で行う。現在、栃木ダルクでは約二十人がリハビリに取り組んでおり、このうち宇都宮OPでは四人が就労の準備を進めている。栗坪代表は「県内でも薬物の問題は若年化している。

依存は、使い始めた時点から始まる。重症になる前に気軽に相談してほしい」と話す。

（問）宇都宮OP TEL028-650-5582。

グループミーティングに取り組む入寮者たち＝宇都宮市大曾2丁目の「宇都宮アウトパシエント」



編集

栃木DARC

宇都宮OP

那須TC

〒320-0014

〒329-3225

栃木県宇都宮市大曾 2-2-14

栃木県那須郡那須町豊原丙 3227-2

形松ビル 3F

TEL 028-650-5582 FAX 650-5597

TEL 0287-77-7157 FAX 77-7158

ホームページアドレス <http://www.t-darc.com>

秋田フェローシップに参加して

太朗



今回は、秋田のフェローシップに参加して来ました。あんまり行く機会がない秋田県ですから、結構距離があるから遠いとは思えませんが、仲間と運転の交代を

しながら秋田に着きました。

一泊目はダルクに泊めてもらい、夜には山形県の鶴岡市のNA会場があるミーティングに参加しました。なんと片道三時間もあるのにはビックリしました。きっと回復には必要な場所としてハイヤーパワーが与えてくれたのかなと思いました。

二日目は秋田の施設から田沢湖スキー場に向かいました。スキー場に付くと早速スノーボードを履いてゲレンデへ。自分はたいしてうまく滑れないのは知っているのと痛い思いをしたくないのでゆっくりと滑っていました。それでも転ぶときは転ぶものですね。周りの仲間はスイスイ滑る人もいれば一度もやったことのない人もいて、人それぞれ一生懸命な人、楽しそうな人がいました。俺も、楽しい時間を過ごせました。

一日目が終わりホテルに着くと受付を終わらせ仙台、秋田の仲間と温泉に浸かりました。露天風呂も内風呂もなかなかの湯加減で気持ち良かったなあー。そして夕食、初めて食べる、きりたんぼ鍋はとても不思議なものだった。夕飯を取った場所は何故か磐梯ダルクを思い出させるところでした。部屋に戻り仲間との時間を過ごして、最終日に備え夜は早めにねました。

三日目最終日は、もういいというところまで滑りました。帰りの車の運転の事も考えずに・・・スノーボーはというと、あんまり高いところまではめったに行かないのですが、この日は上から二番に高いところまでいきました。そこからみわたす風景は霧がかかるものの絶景で田沢湖が一望でき無謀だと思ったけど上まで来たかいはあったかな。

すべりはというと勿論転びながらゲレンデをおりました。これが体で覚えるということかな。

フェローシップに参加して再会できた仲間、初めて会う仲間ありがとう。自分の悩みを聞き、励ましの言葉くれた仲間ありがとう。そして今回参加したみなさん、お疲れ様でした。楽しい時間をありがとう、また会う日まで

テル

ちょうど去年の今頃にも秋田のフェローシップに参加させていただきました。「あの時から一年たったのかあ」って実感しました。色々な仲間に出会えて楽しかったです。



クロ

参加するまでは不安で一杯の旅行でしたが、秋田が助の人達は皆、親切で楽しむことが出来ました。栃木とは地方生活が出来てよかったと思います。今後もフェローシップがあれば積極的に参加したいです。

シュン

3月2.3.4日と秋田が助、仙台が助とフェローシップをとってきました。初めて会う人たちばかりでしたが、みんな友好的？でスノーボー等、有意義な3日間を過ごせました。

また機会があれば参加したいと思います。

栃木ダルクに来ちゃったよ。

薬中の しんすけ

薬中の しんすけ何年振りかな、ここに来たのって・・・

3月3,4日って秋田でスキーフェローシップに参加しました。リフトに乗って上に行けば田沢湖がきれいに見える位に天気がよく今年に入って一番気持ちよかったかも？スノボーやったら体中がメチャメチャに痛い（笑）でも楽しいからがんばっちゃうよね。しかも2日連チャンで楽しいことはできるうんですけどねえ・・・嫌なこと、きつい事はなかなかやる気が起こらなくて毎回×②困っていますけど（涙）相変わらず。



数日前に栃木に行くことが決定し慌しい中、荷物をどうにかまとめ終え急だったので本当に行くのかどうか？冗談？フェローシップが終わってそのまま栃木のメンバーと一緒にダルクにきてしまいました。行きは秋田の車で帰りは栃木の車でなんか変な感じのまま車に揺られ五時間後に到着、運転してくれた仲間には申し訳ないですが僕は車で寝ただけですけどね。

何年か振りに栃木に来ましたがメンバーも変わって施設の場所も変わっていて戸惑う気持ちと懐かしい気持ちも少しずつ感じていますっていっても前は二週間位しか居なかったけど、今回はいつまでいるか未定ですけど（1ヶ月位かな？）沢山の仲間との出会いがある事は嬉しい事ですね、名古屋とか岐阜とか行ってすごくよかった。また行きたいと思っているし「色々な場所にも行きたい。」と最近はとっていたら栃木ダルクにくることになり、すごくないですかこのタイミング？

「栃木に来て与えられた時間、場所、仲間全部を大切にしたいなあ。」って窓の外を見て思いました。

3月予定表

- | | |
|-----|--------------|
| 11日 | 北関東薬物関連問題研究会 |
| 16日 | 県薬物協議会 |
| 17日 | 黒羽刑務所覚せい剤教育 |
| 18日 | 川崎家族会 |
| 22日 | 黒羽刑務所覚せい剤教育 |
| 26日 | NPO シンポジウム |
| 29日 | 黒羽刑務所覚せい剤教育 |



まだまだ寒い那須にて全員集合？

発行所

郵便番号一五七—〇〇七三
東京都世田谷区砧六—二六—二一
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価100円

12月献金を下さった方々

井澤和子様、聖血礼拝修道会様、今市更生保護女性会様、大久保寿子様
栃木ダリを支援する家族会様、大久保健三様、佐藤信様、佐藤栄様
こころの相談室「リカバリ」様、青木けい子様、渡辺直治様
久保将雄様、大藤スミ様、大藤禮子様、神谷一二様

匿名4名様

12月献品を下された方々

小松崎道子様、井澤和子様、鈴木鈴与様、高久勝様

匿名5名様